

件 名	平成27年陳情第1号 24万都市八戸市にふさわしい新美術館の建設を求める陳情
処 理 経 過 及 び 結 果	
○八戸市美術館は、旧税務署の庁舎を用途変更し、昭和61年に県内初の博物館法に基づく美術館（登録博物館）として開館して以来、当市の文化芸術活動の振興に大きな役割を果たしてきました。 ○しかしながら、魅力的で自由度の高い芸術作品の鑑賞空間確保や施設の老朽化など課題が表面化しており、長年多くの市民の皆様から新しい美術館の整備が期待されてきたところです。 ○このため、新美術館の整備のあり方について模索して参りましたが、国の補助制度を活用しての整備が可能となったことから、平成28年4月より、市に新美術館建設推進室を設置し、整備事業に着手しております。 ○建設予定地については、現在の美術館の敷地及び隣接する市有地に、青森銀行の土地を加えた協調開発区域内での配置を検討しております。 ○現在の進捗状況につきましては、市内外の有識者や、市内の関係団体及び市民の皆様からご意見をいただきながら、平成28年9月に「アート・エデュケーション・ファーム～種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館～」をテーマに掲げる「八戸市新美術館整備基本構想」を取りまとめ、公表しております。 ○また、平成29年1月に、新美術館の管理運営基本計画を策定するための「八戸市新美術館運営検討委員会」を設置し、検討を行っているほか、公募型プロポーザルにより平成29年3月に設計者を選定し、基本設計を進めております。 ○現時点では、平成32年度後半のオープンを想定して準備を進めておりますが、今後有識者や市民の皆様との意見交換を重ねながら、管理運営基本計画の策定や実施設計を経て、建設工事に着手するなど、着実に事業を進めて参ります。 ○なお、「八戸芸術パーク（仮称）整備構想」では、この施設は舞台芸術（音楽、演劇等）を中心に映像・アートなど様々な文化芸術活動を支援・促進するため、ホールやギャラリー、練習室等を備えた複合施設として整備する内容となっており、美術館の機能は含まれていないことを申し添えます。	